

女子バスケ

コア4

ヤンキースの黄金時代を支えた生え抜き4選手

歴史に名を刻め



アストウ



寺林



中谷



加藤

少数精鋭 チームの核担う4年生が有終飾る!!

協調性と個性で主軸支える下級生



飯野&中谷



中谷&寺林



寺林&加藤

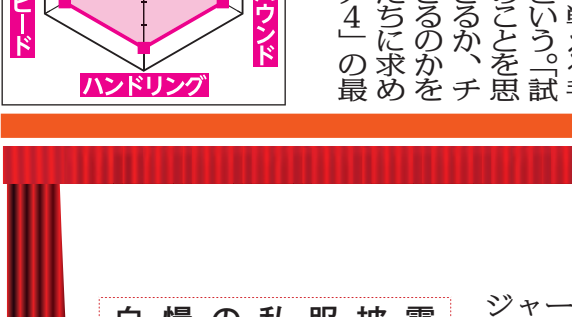
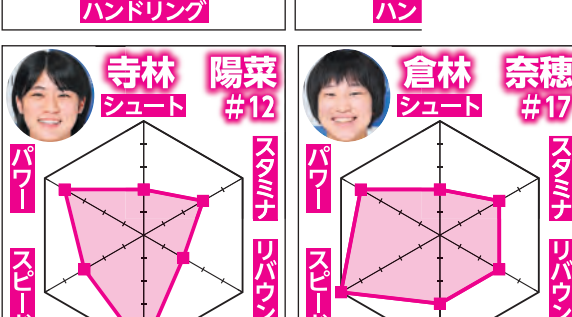
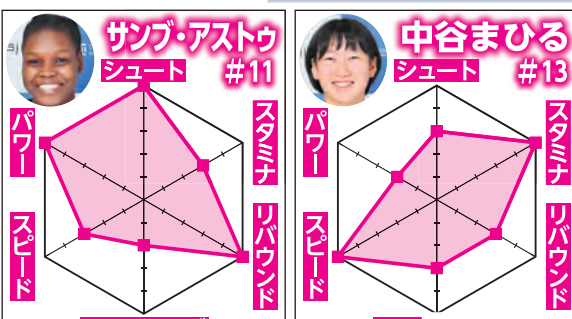
お互いの印象を聞いてみました
少数精鋭の4年生を支える多彩なメンバーからも目を離せない。協調性に富み、結束力が強いと評される3年生に、個の力が強く元気なプレーを見せる学生が多い2年生など、学年によるカラーもはっきりしている。そんな彼女たちはお互いのことを一体どう思っているのか。印象を聞いてみた。

★飯野彩華 (経営社会3年、千葉・市立柏高) & 増田悦実 (経営社会2年、埼玉・正智深谷高)
飯野→増田「センターという貴重なポジションで戦う、頼れるお母さんの存在」
増田→飯野「何でも器用にでき、背が高いのにチームのために走れる尊敬できる先輩」

★大川美莉 (こどもコミュニケーション3年、茨城・水城高) & 蛭町真歩 (こどもコミュニケーション2年、千葉・昭和学院高)
大川→蛭町「学科もポジションも同じなので切磋琢磨(せっさたくま)し合える。ライバルであり友達のような関係」
蛭町→大川「共通点が多く話しやすい先輩。助け合える良い関係」

★知久裕奈 (経営社会3年、栃木・作新学院高) & 入澤楓 (経営社会2年、沖縄・普天間高)
知久→入澤「普段は天然で、時に見える男子選手のような力強いプレーも見ていて楽しい。みんなから愛されるキャラ」
入澤→知久「言いたいことをはっきり言ってきて、自分にとってやりやすい環境にしてくれる」

石川H.C.は特に3年生と2年生について「学年のカラーが正反対で違った良さが見られる」と語る。個性が強い4年生と2年生をつなぐ形で一枚板の3年生がいて、より全体の結束が固まる効果もあるという。



石川H.C.期待
石川優希ヘッドコーチ(日谷)は「密度の高い練習をこなしてきた学年。力のある下級生の力も借りながら、部の歴史に名を刻むような、そんな学年であってほしい」と、少数精鋭の4年生への期待を口にしている。こどもコミュニケーション学科教授の守屋志保部長の下で強化を続けてきたチームは、強豪がそろった関東大学リーグ2部で上位を争う。主将の中谷未歩(経営社会4年、大阪・星翔高)は主将としてチームを引っ張り、インカレ出場という目標に挑む。

アストウ 闘志
2年連続でリーグ得点王に輝いたアストウ・アストウ(経営社会4年、新潟・開志国際高)は、ゴール下での競り合いを課題に挙げ「チームとして強くなるために得点力を上げたい」と、さらなる活躍を誓う。副主将の加藤遥(経営社会3年、千葉・市立柏高)は「1部昇格を目指した2021年秋のリーグ戦は、コロナ禍で通常の半分の7試合しか実施しなかった中、まさかの4連敗スタート。そこから3連勝でようやくチームが上向いたところ、リーグ戦最終戦だった。ただ石川H.C.は上位リーグのチームとも戦える手応えを感じていた」と、試合に出られなかった選手のことを思い、チームのために貢献できるのかをこれまで以上に選手たちに求めている。この「コア4」の最後の1年に臨む。

中谷主将「チーム引っ張る」
中谷主将は「チーム引っ張る」という目標を掲げ、チームの士気を高めることに力を入れている。特に3年生と2年生の連携を重視し、チームの結束を固めることに注力している。

江戸川大学女子バスケットボール部の鍵は、4人の4年生が握る。個性の強い4人は1年生から試合に出続け、コート内外でチームを引っ張ってきた。かつて大リーグのヤンキースで黄金時代を築いた生え抜き4人「コア4」のように、チームの核となった江戸川大学の「コア4」が、悲願の1部昇格とインカレ出場へチームを導く。

強化指定部に聞きました 私 の 東京五輪

自慢の私服披露

女子バスケ部

男子バスケ部

フットボール部

山崎麗衣菜 (こどもコミュニケーション学科4年、千葉・市立柏高)

飯野彩華 (経営社会3年、千葉・市立柏高)

西原雅人 (経営社会2年、千葉・八千代松陰高)

坂本歩夢 (経営社会3年、神奈川・厚木北高)

強化指定部に聞きました 私 の 東京五輪

注目の競技

注目の選手

あなたが推す名場面

東京五輪アンケート

注目競技	注目選手	あなたが推す名場面
バスケットボール	飯野彩華	飯野彩華のシュート
サッカー	中谷未歩	中谷未歩のパス
野球	寺林莉奈	寺林莉奈のヒット
フェンシング男子団体	加藤莉奈	加藤莉奈のフェンシング